



shaping tomorrow with you

## **FUJITSU Software ServerView® Suite を使おう！**

—シナリオ 1：ハードウェア異常監視①（メール通知等の設定）—

**対象製品：ServerView Event Manager**

**2014年1月**  
**富士通株式会社**

改版日	改版内容
2014.1	新規作成

## はじめに

FUJITSU Software ServerView® Suite は、FUJITSU Server PRIMERGY に標準添付されている、サーバ監視・管理ソフトウェアです。FUJITSU Software ServerView® Suite を使用することにより、サーバ管理者は、システム異常時の迅速な対応や原因の究明ができ、またシステムの安定した運用や管理が可能になります。

## 本資料の目的

本資料は、FUJITSU Software ServerView® Suite を用いたサーバ監視・管理作業の中から、代表的な作業の設定方法を、シナリオとしてご紹介するものです。

シナリオには以下があります。必要に応じて参照してください。

シナリオ No : タイトル	内容
0 : ServerView Operations Manager のインストール方法	ServerView Operations Manager / Agents のインストールを説明しています。
1 : ハードウェア異常監視①（メール通知等の設定）	ServerView Event Manager による、メール等での異常通知方法を説明しています（ <b>本書</b> ）。
2 : ハードウェア異常監視②（ハードディスクの詳細確認）	ServerView RAID Manager による、ハードウェアの異常監視方法を説明しています。
3 : CPU 負荷率の監視	ServerView Threshold Manager による、CPU 負荷率の監視方法を説明しています。
4 : スケジュール運転	サーバ起動・停止のスケジューリング設定方法を説明しています。
5 : CPU 負荷率やメモリ利用率、消費電力などのデータ採取	ServerView Performance Manager によるシステムの負荷状況、および ServerView Power Monitor による電力消費量の監視方法を説明しています。
6 : 自動再起動（ServerView ASR&R）	ServerView ASR&R による、正常起動の監視、および異常時の自動再起動の設定方法を説明しています。
7 : ハードウェア状態の比較による、異常原因究明	ServerView Archive Manager による、ドライバ更新などのログ採取と、ログの比較によるエラー原因究明の方法を説明しています。

## 本資料におけるシステムの前提条件

本資料は、以下の環境を前提としています。サーバ機種の違いや、ServerView Operations Manager および ServerView Agents のバージョンの違いなど、異なる環境では操作方法や動作が異なる場合がありますので、御了承ください。

項目	内容
管理サーバ	TX120 S3
サーバ OS	Windows® Server 2008 R2 SP1
Web ブラウザ	Internet Explorer 8.0.7601.17514
ServerView Operations Manager	Version 6.20.07
ServerView Agents	Version 6.20.04.10

## 本資料を利用するにあたっての前提知識

本資料を利用するにあたって、以下の技術情報についての知識が必要となります。

- ・ PC サーバに関する一般的な知識
- ・ Windows®の OS に関する一般的な知識
- ・ ネットワークに関する一般的な知識
- ・ FUJITSU Software ServerView® Suite に関する基礎知識

## 本資料を活用するにあたっての留意事項

本資料は、2014 年 1 月現在の情報を元に作成しています。最新の FUJITSU Software ServerView® Suite の情報については、各製品のマニュアルを参照してください。

はじめに .....	3
1. サーバ監視シナリオ .....	6
2. サーバ監視の設定 .....	7
2.1. ServerView Event Manager を用いたアラーム設定 .....	7
2.1.1. 共通設定 .....	7
2.1.2. アラーム設定の流れ .....	8
2.1.3. アクションの作成 .....	9
2.1.3.1. メール設定 .....	9
2.1.3.2. ポップアップ設定 .....	12
2.1.3.3. プログラム実行設定 .....	14
2.1.3.4. アラーム転送（トラップ）設定 .....	16
2.1.4. アラームルール .....	19
2.1.5. (ご参考) フィルタルール .....	26
2.1.6. (ご参考) パトライト連携 .....	26
2.2. Base Configuration Wizard (基本設定ウィザード) を用いたアラーム設定 .....	26
免責事項 .....	27

## 1. サーバ監視シナリオ

### シナリオ 1：ハードウェアの異常監視

ServerView Event Manager は、異常の発生を迅速に多彩な手段で管理者に通知します。また、多数のアラームの中から、対応が必要なアラームのみを抽出し管理者に通知します。

#### シナリオ 1：

企業 A ではファイルサーバとして PRIMERGY を導入しました。ファイルサーバの運用継続性を維持するため異常をいち早く検知し、管理者に通知を行えるように設定を行います。通知するアラームは、重要度が「CRITICAL（危険）」、「MAJOR（重度）」のもの全てを設定します。さらに、重要度が「INFORMATIONAL（情報）」の中でもハードディスクに関するアラームを通知できるように設定します。

#### シナリオ1の運用イメージ

#### ServerView Event Manager



## 2. サーバ監視の設定

ServerView Event Manager は、異常発生を様々な方法で迅速に通知し、システム異常の早期発見をサポートします。また、アラームを絞り込み、お客様にとって必要な情報だけを通知します。

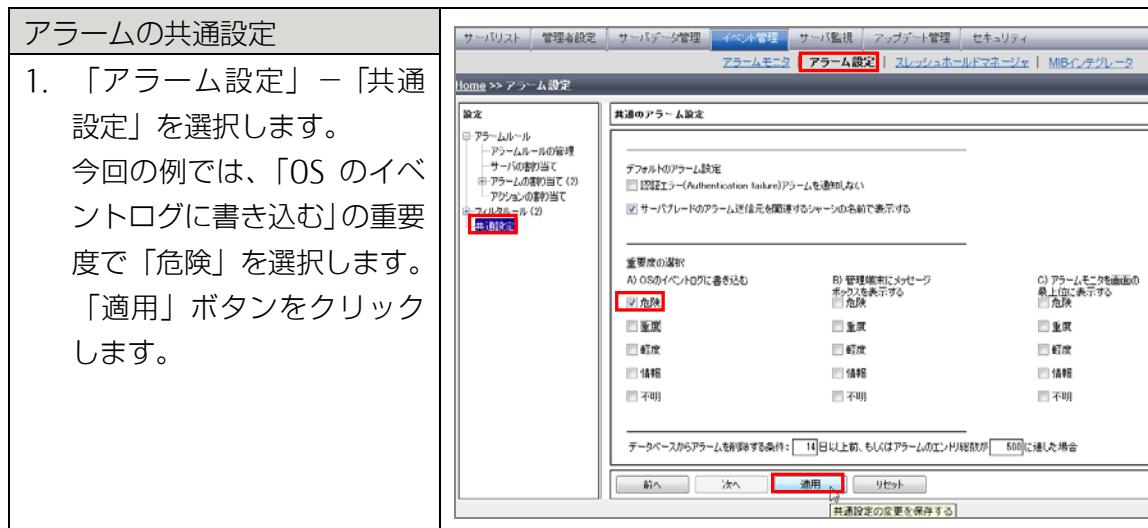
### 2.1. ServerView Event Manager を用いたアラーム設定

本資料では、ServerView Event Manager の多彩な異常通知の設定方法をご紹介します。

#### 2.1.1. 共通設定

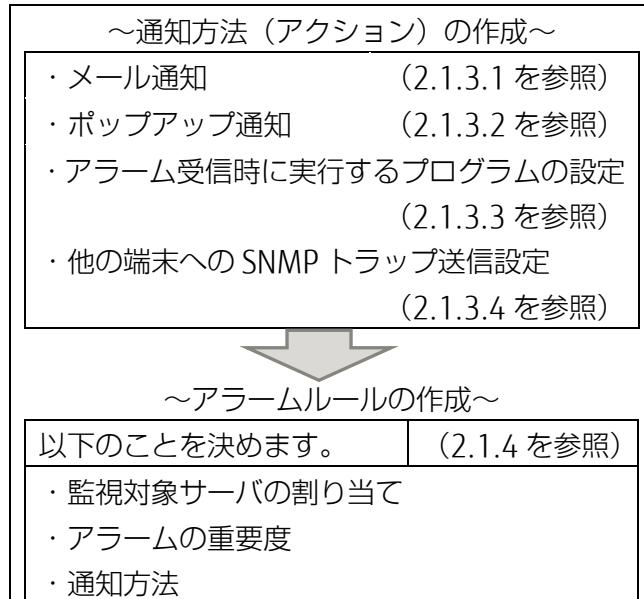
デフォルトで実行するアラームの処理方法を設定します。

- OS のイベントログに書き込む
    - アラームの受信時に、OS のイベントログに記録します。
  - 管理用サーバにメッセージボックスを表示する
    - アラームの受信時に、管理用サーバにポップアップ通知を表示します。
  - アラームモニタを画面の最上位に表示する
    - アラームの受信時に、ウィンドウの最前面にアラームモニタを表示します。
- アラームの重要度は、「CRITICAL（危険）」「MAJOR（重度）」「MINOR（軽度）」「INFORMATIONAL（情報）」「UNKNOWN（不明）」です。



## 2.1.2. アラーム設定の流れ

本資料では、以下の流れに従って、アラーム設定の流れを説明します。内容は各章を参照してください。



### 2.1.3. アクションの作成

各アクションを作成（異常通知方法を設定）します。

- ・メール設定
- ・ポップアップ設定
- ・プログラム実行設定
- ・アラーム転送（トラップ）設定

#### 2.1.3.1. メール設定

メール通知を設定します。

<p>メールを通知するアクションの設定</p> <p>1. 「アラームの設定」 - 「アクションの割り当て」を選択し、アクションの割り当て画面を開きます。 「追加」ボタンをクリックすると、「新規アクションの種類」画面が開きます。</p>	
<p>2. 「メール」を選択します。 「OK」ボタンをクリックすると、「新規メールの設定」画面が開きます。</p>	

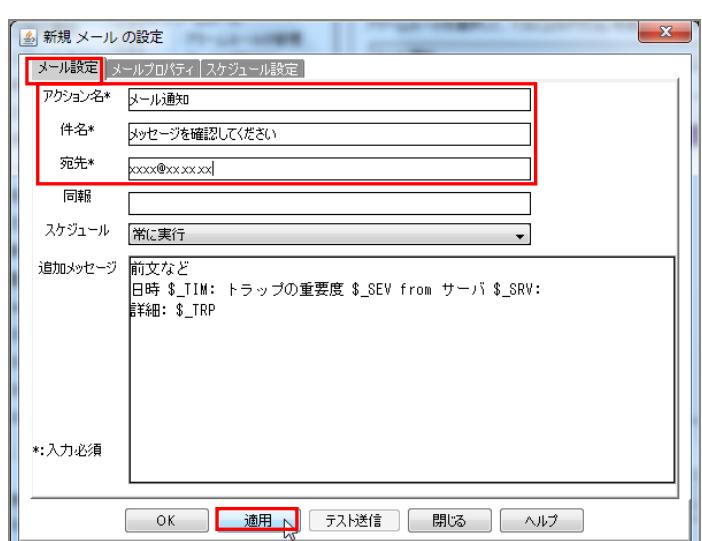
3. 「メール設定」タブでは、以下の項目のメール設定を行います。

- ・アクション名：メール設定の名前
- ・件名：メールの件名
- ・宛先：送信先電子メールアドレス
- ・同報：アラームのコピーを送信したい担当者の電子メールアドレス
- ・スケジュール：アラーム転送のタイミング
- ・追加メッセージ：アラームメッセージを定義するテキスト

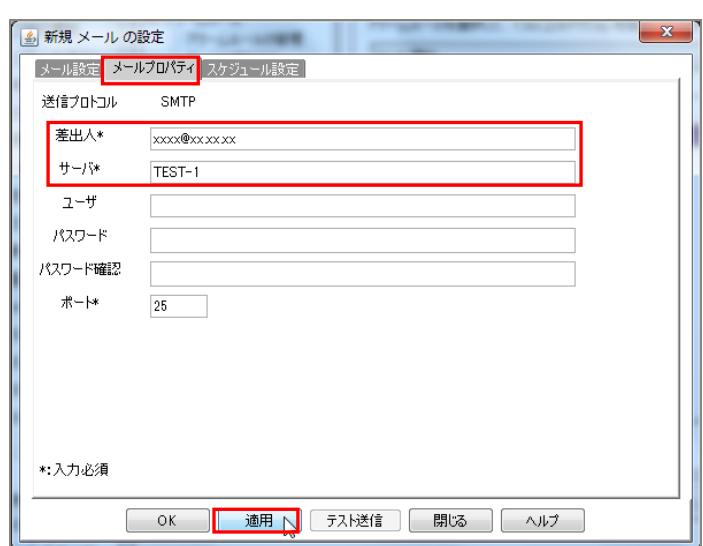
今回の例では、以下のように設定します。

- ・アクション名：メール通知
- ・件名：メッセージを確認してください。
- ・宛先：xxxx @xx.xx.xx

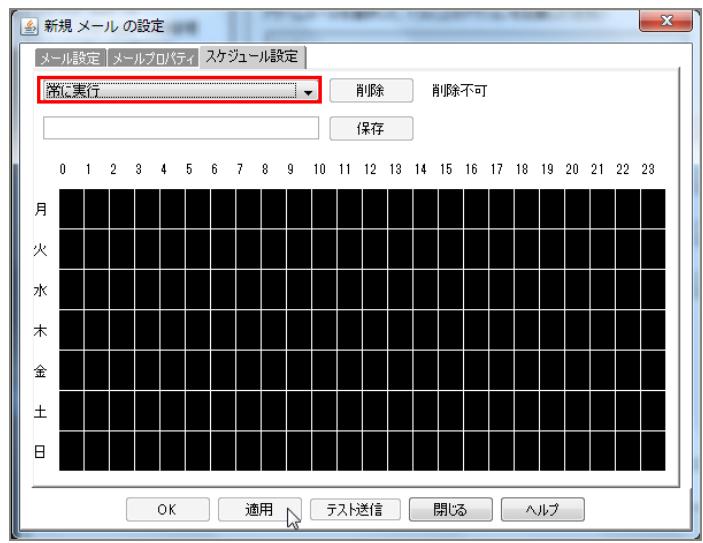
「適用」ボタンをクリックします。  
 ※「追加メッセージ」では、メールの本文には、各種マクロを使用して、サーバの関連情報を挿入できます。詳しくは、ServerView Event Manager のマニュアルを参照してください。



4. 「メールプロパティ」タブでは、メールサーバ用のフィールドがあります。差出人、サーバ、ポートは入力必須項目です。
- ・差出人：送信者
  - ・サーバ：SMTP サーバ
  - ・ポート：ポート番号
- 今回の例では、以下のように設定します。
- ・差出人：xxxx@xx.xx.xx
  - ・サーバ：TEST-1
  - ・ポート：25

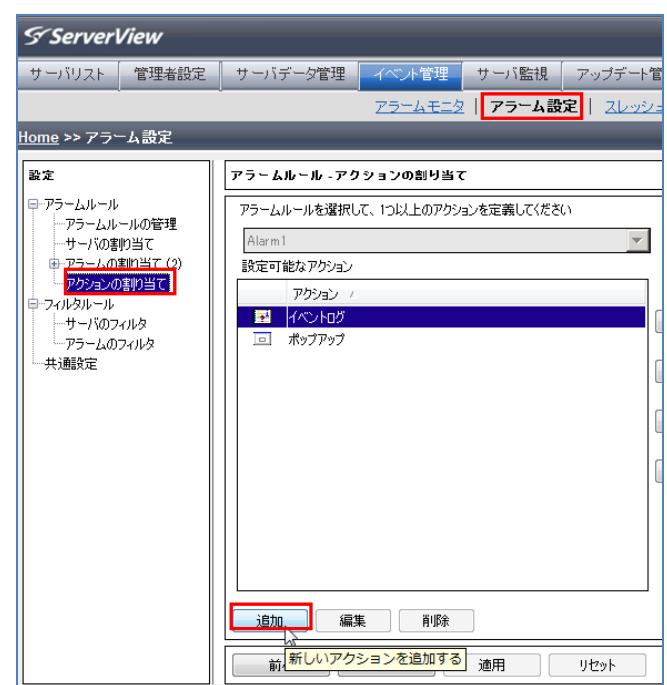
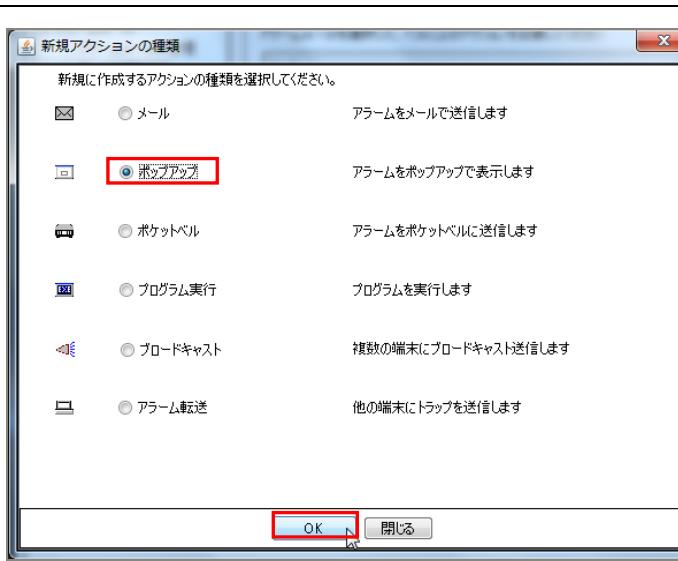


5. 「スケジュール設定」タブでは、アラームの通知時刻を、週全体にわたって 1 時間単位で定義できます。
- 今回の例では、スケジュールの実行タイミングを「常に実行」で設定します。



### 2.1.3.2. ポップアップ設定

ポップアップ表示を設定します。

<p>ポップアップを通知する設定</p> <p>1. 「アラーム設定」 – 「アクションの割り当て」を選択し、アクションの割り当て画面を開きます。 「追加」ボタンをクリックすると、「新規アクションの種類」画面が表示されます。</p>	
<p>2. 「ポップアップ」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。 「ポップアップの設定画面」が表示されます。</p>	

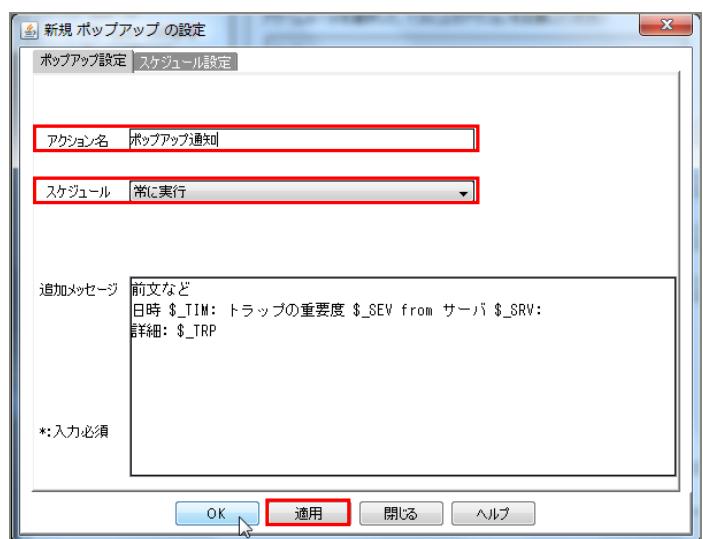
### 3. ポップアップ通知に必要な設定を行います。

- ・アクション名：  
ポップアップ設定の名前
- ・スケジュール：  
ポップアップ通知のタイミング

今回の例では、以下のように設定します。

- ・アクション名：  
ポップアップ通知
- ・スケジュール：常に実行  
「適用」ボタンをクリックします。

※「追加メッセージ」では、メールの本文には、各種マクロを使用して、サーバの関連情報を挿入できます。詳しくは、ServerView Event Manager のマニュアルを参照してください。



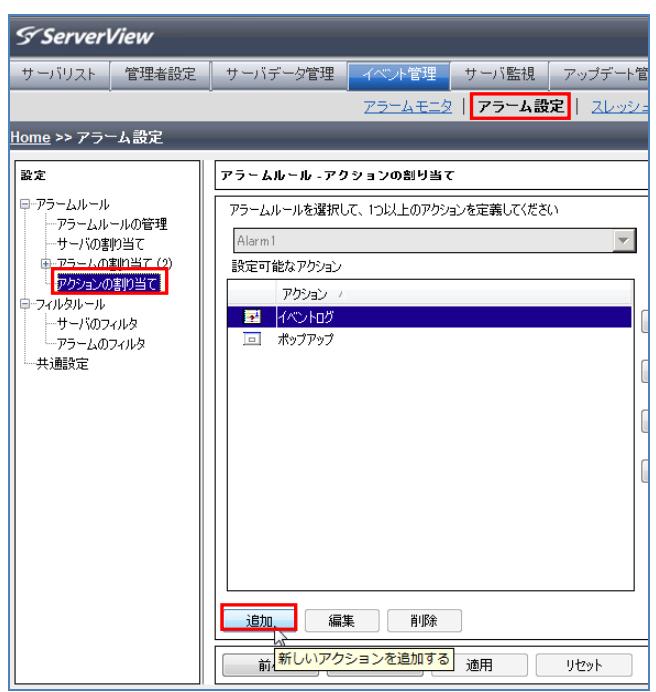
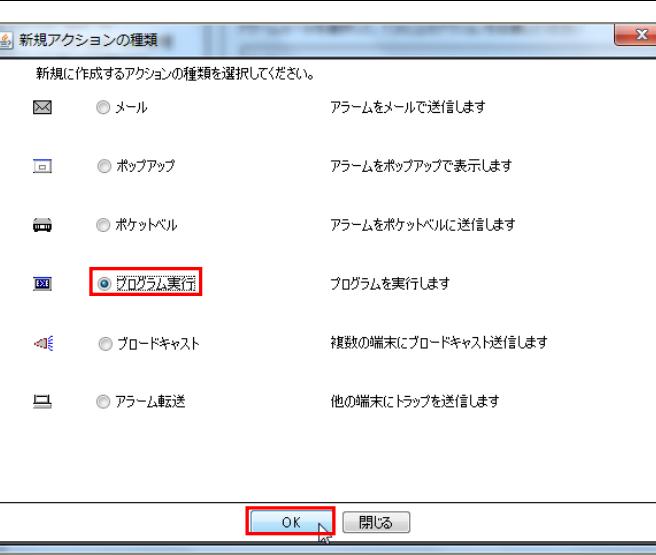
### 4. 「スケジュール設定」タブでは、アラームの通知時刻を、週全体にわたって 1 時間単位で定義できます。

今回の例では、スケジュールの実行タイミングを「常に実行」で設定します。

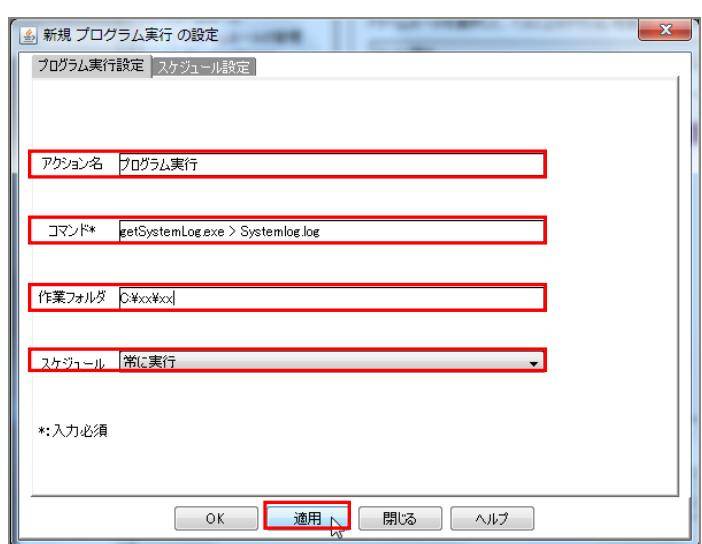


### 2.1.3.3. プログラム実行設定

アラーム受信時に実行するプログラムを設定します。

<p>プログラムを実行するアクションの設定</p>	
<p>1. 「アラーム設定」 – 「アクションの割り当て」を選択します。 「追加」ボタンをクリックすると、「新規アクションの種類」画面が表示されます。</p>	

3. 「プログラム実行設定」タブでは、プログラム実行に必要な設定を行います。
- ・アクション名：  
プログラム実行の名前
  - ・コマンド：  
実行するコマンドの名前
  - ・作業フォルダー：  
実行する「コマンド」が存在するフォルダーの名前
  - ・スケジュール：  
アラームによりコマンドを呼び出すタイミング
- 今回の例では、以下のように設定します。
- ・アクション名：  
プログラム実行
  - ・コマンド：  
getSystemLog.exe > Systemlog.log
  - ・作業フォルダー：C:\xx\xx
  - ・スケジュール：常に実行  
「適用」ボタンをクリックします。

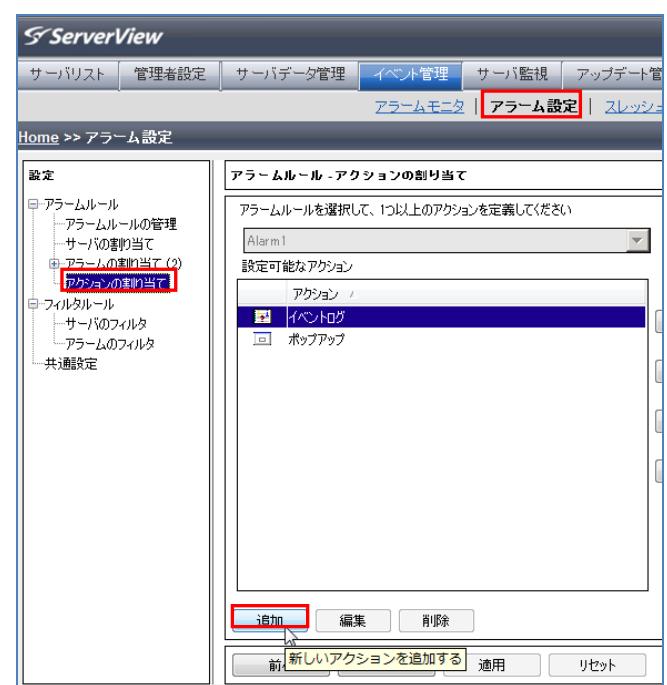
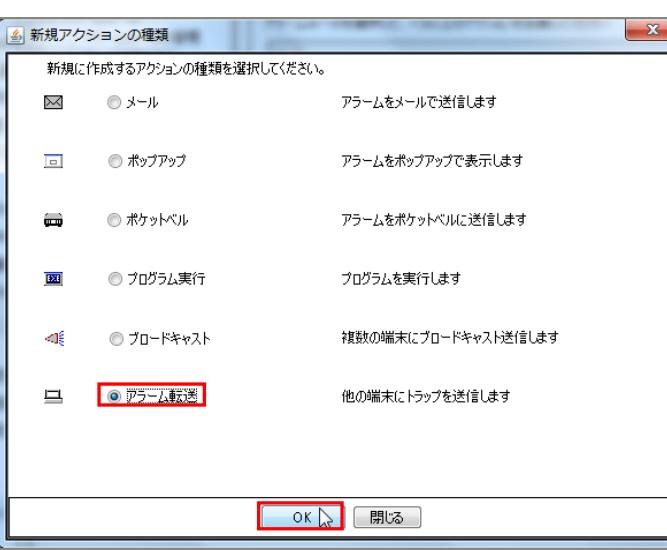


4. 「スケジュール設定」タブでは、アラームの通知時刻を、週全体にわたって 1 時間単位で定義できます。
- 今回の例では、スケジュールの実行タイミングを「常に実行」で設定します。



#### 2.1.3.4. アラーム転送（トラップ）設定

アラーム受信時に、他の端末へ送信する SNMP トラップを設定します。

<p>他の端末に SNMP トラップを送信する設定</p>	
<p>1. 「アラーム設定」 – 「アクションの割り当て」を選択し、アクションの割り当て画面を開きます。</p>	
<p>「追加」ボタンをクリックすると、「新規アクションの種類」画面が表示されます。</p>	
<p>2. 「アラーム転送」を選択します。</p>	

3. アラーム転送設定タブでは、トラップ転送に必要な設定を行います。

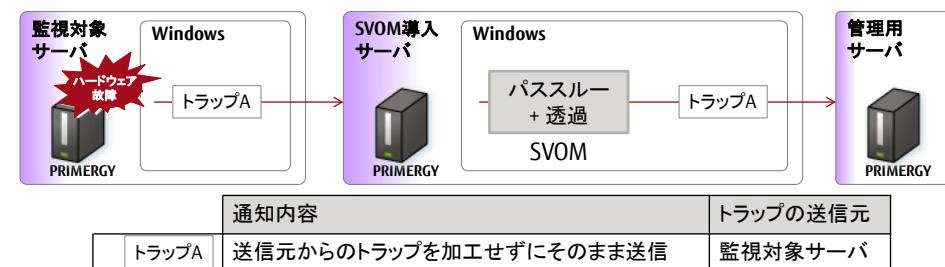
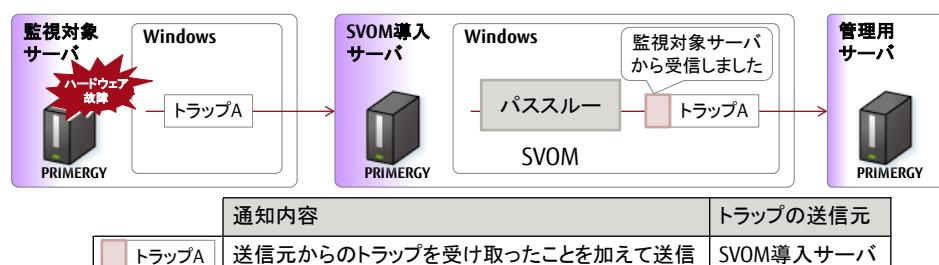
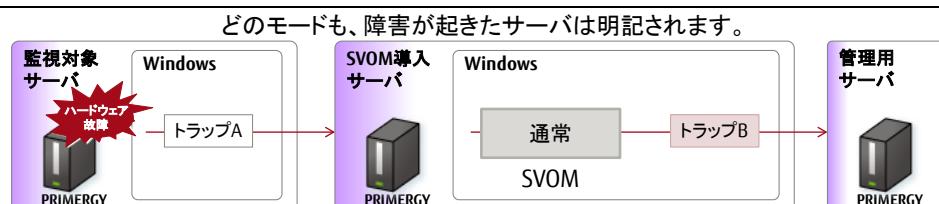
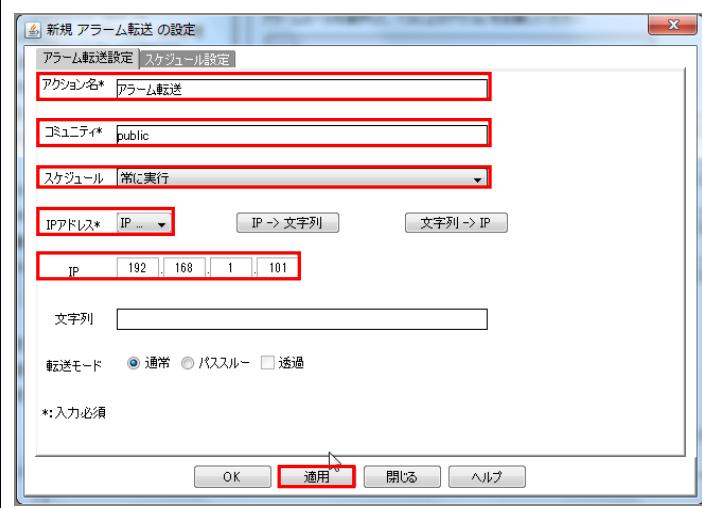
- アクション名：  
トラップの転送先のステーションの名前
- コミュニティ：  
トラップの転送先のコミュニティの名前
- スケジュール：  
アラーム転送のスケジュール設定

- IP アドレス：  
インターネットプロトコルアドレス
- 転送モード：SVOM がアラームを管理用サーバに転送する方法

今回の例では、以下のように設定します。

- アクション名：  
アラーム転送
- コミュニティ：public
- スケジュール：常に実行
- IP アドレス：  
IPv4  
IP : 192.168.1.101

「適用」ボタンをクリックします。



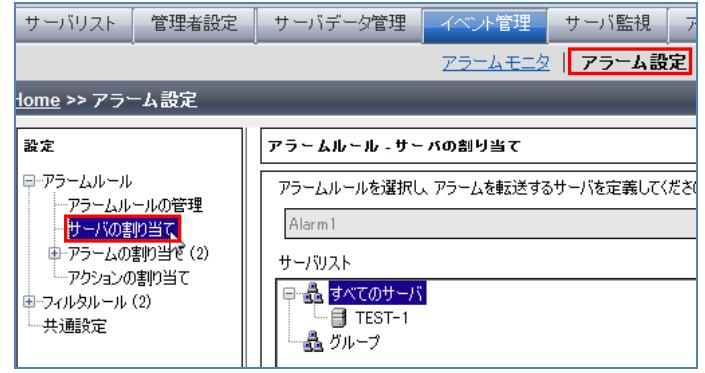
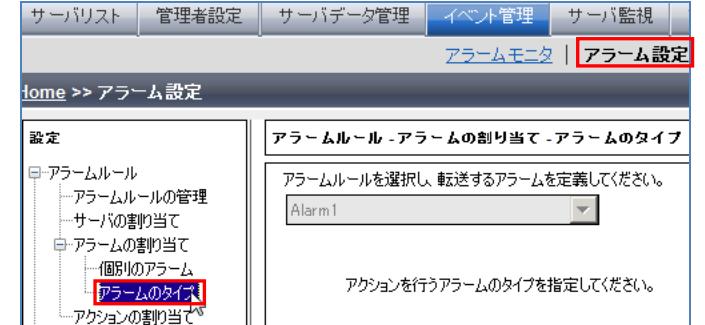
4. 「スケジュール設定」タブでは、アラームの通知時刻を、週全体にわたって 1 時間単位で定義できます。今回の例では、スケジュールの実行タイミングを「常に実行」で設定します。



## 2.1.4. アラームルール

アラームルールとは、各サーバから通知される特定のアラームに対してアクションを実行する定義です。「アラームルールの管理」画面には、設定されているすべてのアラームルールの内容が表示されます。

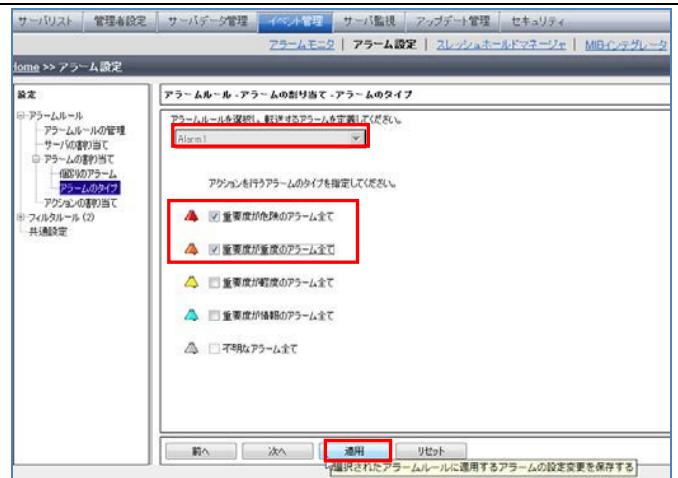
<p>新規アラームルールの作成</p> <p>1. 「アラーム設定」 - 「アラームルールの管理」を選択します。 「アラームルールの管理」画面が表示されます。</p>	
<p>2. 「アラームルールタブ」を選択します。 「追加」ボタンをクリックすると、「新規アラームルール作成画面」が表示されます。</p>	
<p>3. 「新規アラームルール」を作成します。 今回の例では、以下のように設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>アラームルールの名前 : Alarm1</li></ul> <p>「OK」ボタンをクリックします。</p>	

<p>ルールを適用するサーバの割り当て</p>	<p>4. 「アラーム設定」 - 「サーバの割り当て」を選択します。          「サーバの割り当て」画面が表示されます。</p> 
<p>5. 「アラームルール」、アラームを転送するサーバを選択します。          今回の例では、以下のように設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アラームルール : Alarm1</li> <li>サーバ : TEST-1</li> </ul> <p>「選択されたサーバ」に該当のサーバがあることを確認します。          「適用ボタン」をクリックします。</p>	
<p>アラームで通知する重要度の一括設定</p>	<p>6. 「アラーム設定」 - 「アラームのタイプ」を選択します。          「アラームのタイプ」画面が表示されます。</p> 

7. 「アラームルール」を選択します。

今回の例では、以下のように設定します。

- アラームタイプ：「CRITICAL（危険）」、「MAJOR（重要）」にチェックを入れます。
- 「適用」ボタンをクリックします。



個別のアラームの設定

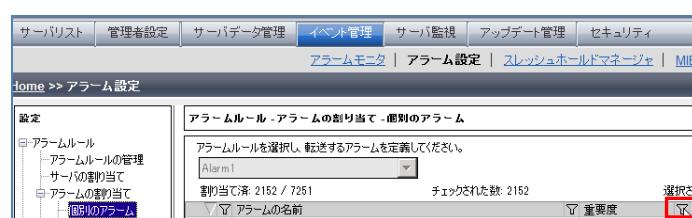
8. 「アラーム設定」－「個別のアラーム」を選択します。

「個別のアラーム」画面が表示されます。

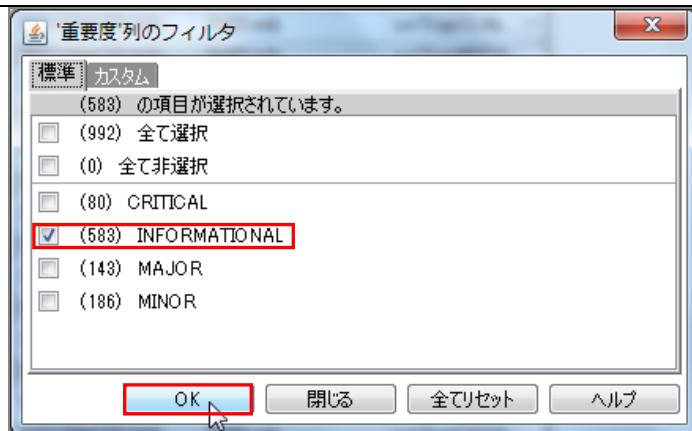


9. アラームルール（ここでは、「メール通知」）を選択します。今回の例では、重要度が「情報（INFORMATIONAL）」のアラームの内、RAID に関連するアラームを選択します。

実際に選択する前に、アラームの絞り込みをします。表の項目「重要度」の右端のマーク をクリックすると、「重要度列のフィルタ」画面が開きます。



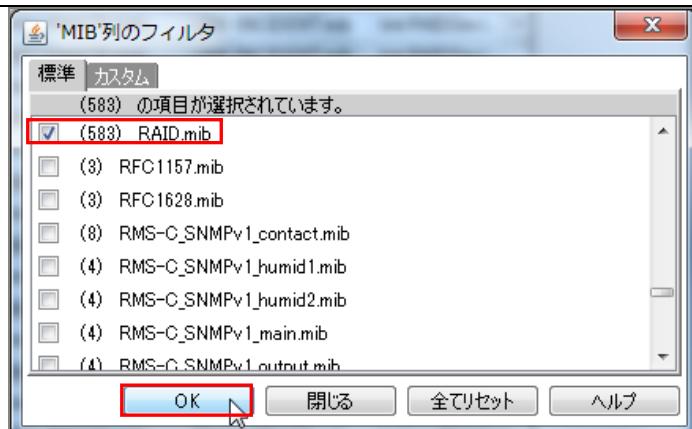
10. 「INFORMATIONAL (情報)」を選択します。「OK」ボタンをクリックします。  
 「個別のアラーム」画面で「INFORMATIONAL (情報)」のアラームを絞り込みます。  
 表の項目「重要度」の右端のマークが  に変わったことを確認します。



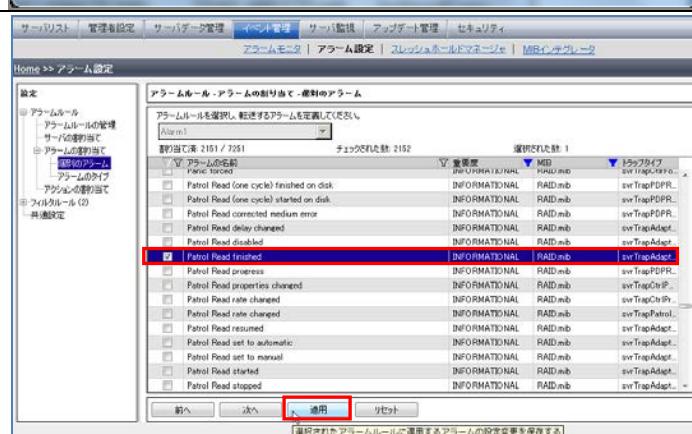
11. 表の項目「MIB」の右端のマーク  をクリックすると、「MIB 列のフィルタ」画面が開きます。

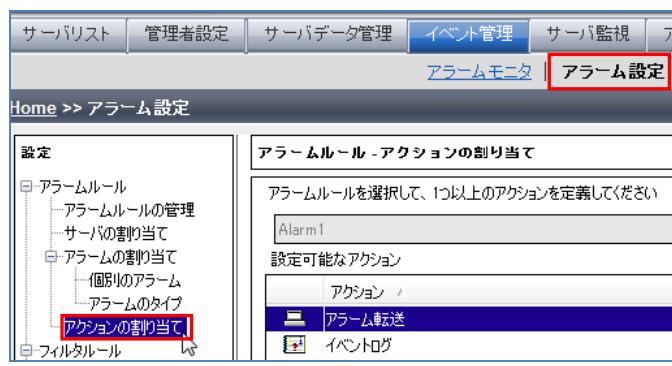
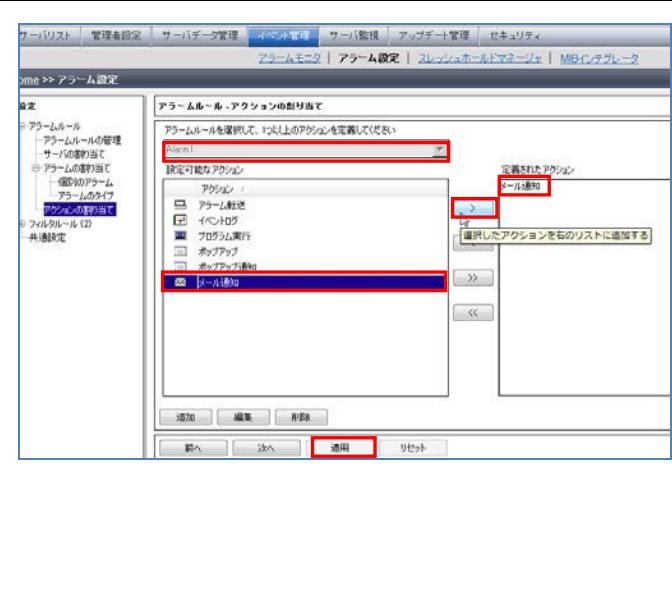
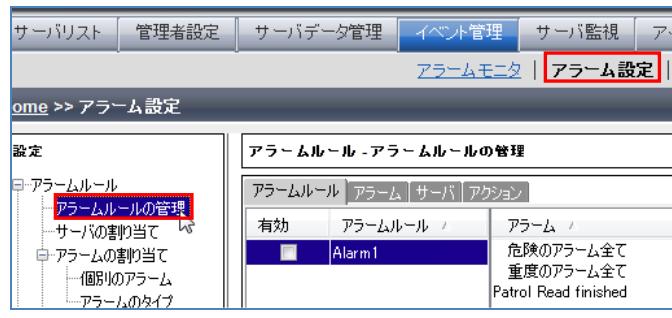


12. 「RAID.mib」を選択します。「OK」ボタンをクリックします。  
 「個別のアラーム」画面で「RAID.mib」のアラームを絞り込みます。  
 表の項目「MIB」の右端のマークが  に変わったことを確認します。



13. 今回の例では、「Patrol Read finished」にチェックを入れます。  
 「適用」ボタンをクリックします。



<p>通知するアクションの割り当て</p> <p>14. 「アラーム設定」 – 「アクションの割り当て」を選択します。      「アクションの割り当て」画面が表示されます。</p>	
<p>15. アラームルール（ここでは、「Alarm1」）を選択します。      「設定可能なアクション」から「メール通知」のアクションを選択し、「&gt;」ボタンをクリックします。      定義されたアクションの欄に「メール通知」が表示されていることを確認します。      「適用」ボタンをクリックします。</p>	
<p>アラームルールの管理の設定確認</p> <p>16. 「アラーム設定」 – 「アラームルールの管理」を選択します。      「アラームルールの管理」画面が表示されます。</p>	

17. 「アラームルール」タブはアラームルールを、アラーム、サーバ、アクションに割り当てるときに使用します。

「有効」の欄は、アラームルールの有効/無効を示します。

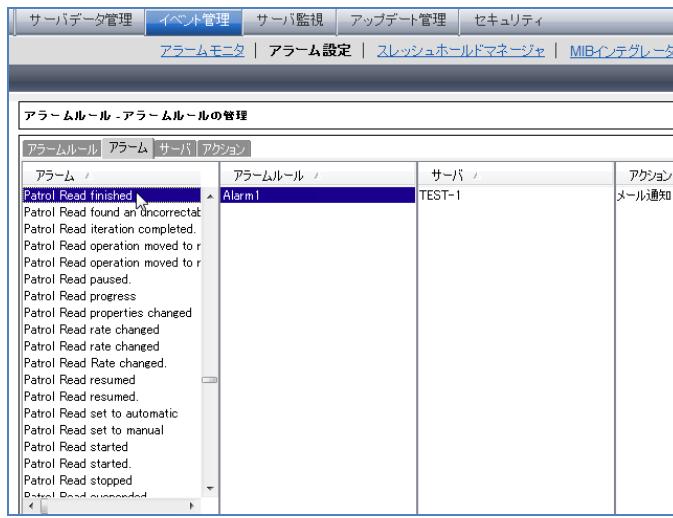
今回の例では、「有効」の欄にチェックを入れ、「適用」ボタンをクリックします。

設定内容の表示 / 確認を行います。



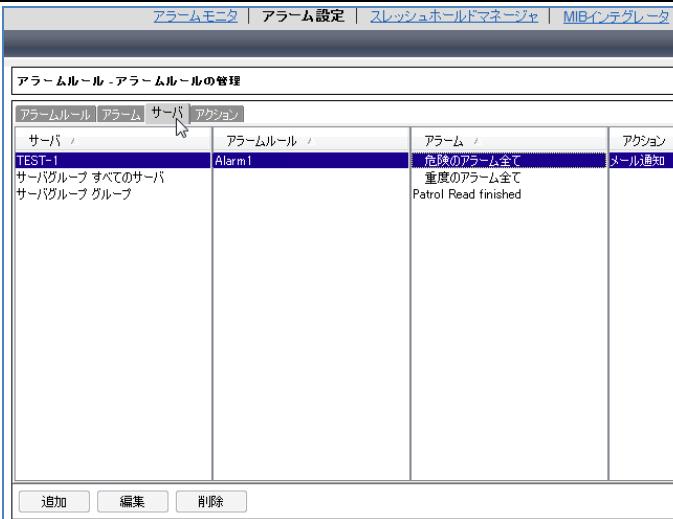
18. 「アラーム」タブをクリックすると、「アラーム」画面が表示されます。

設定内容を確認します。



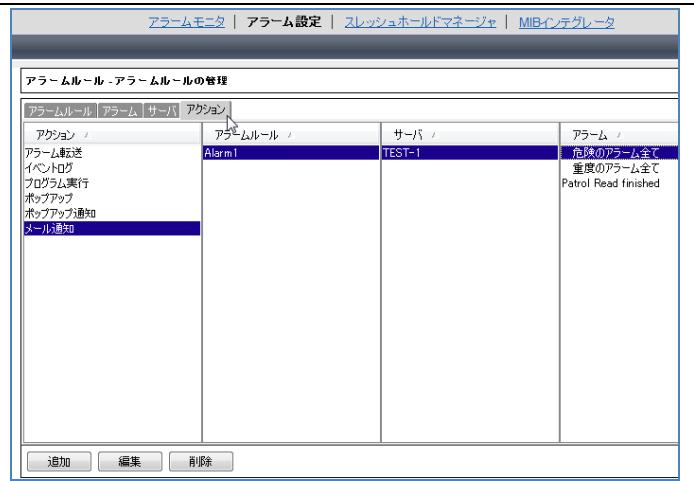
19. 「サーバ」タブをクリックすると、「サーバ」画面が表示されます。

設定内容を確認します。



20. 「アクション」タブをクリックすると、「アクション」画面が表示されます。

設定内容を確認します。



アクション	アラームルール	サーバ	アラーム
メール通知	Alarm1	TEST-1	危険のアラーム全て 重度のアラーム全て Patrol Read finished

### 2.1.5. (ご参考) フィルタルール

どのサーバからのアラームを除外するかを指定します。また、除外するアラームの重要度を指定します。

- ・ サーバのフィルタ

アラームを受信しないサーバのフィルタリングを行います。

登録されたサーバからのアラームはフィルタリングされ、受信されません。

- ・ アラームのフィルタ

条件を満たしていないアラームはフィルタリングされ、アラームモニタのイベント履歴にも表示されません。以下 2 つのフィルタリング設定があります。

「アラームの重要度」…指定した重要度のアラームを受信しない設定をします。

「アラームの頻度」…同じアラームが続けて発信された時、受信しない間隔を設定します。

表：アラームルールとフィルタルールの違い

アラームルール	アクション設定をしなくても、すべてのアラームを受信し、アラームモニタに表示します。
フィルタルール	設定したアラームは受信せず、アラームモニタにも表示しません。

### 2.1.6. (ご参考) パトライト連携

異常が発生した場合、管理者に異常の発生を迅速に通知するため、パトライト社の警告灯（パトライト）と連携して、光や音で異常を通知します。簡単な設定のみでパトライト連携が行えます。

## 2.2. Base Configuration Wizard (基本設定ウィザード) を用いたアラーム設定

Base Configuration Wizard (基本設定ウィザード) では、ServerView Operations Manager の重要な設定をウィザード形式でサポートします。Base Configuration Wizard (基本設定 ウィザード) を使用し、アラーム処理の共通設定、メール設定を行えます。

アラーム処理の共通設定を行う「イベント管理・共通設定」ステップ、アラームのメール設定を行う「イベント管理・メール設定」ステップの詳細設定方法については『Base Configuration Wizard 取扱説明書』をご参照下さい。

## 免責事項

### 免責事項

- 著作権・商標権・その他の知的財産権について

本資料は、著作権・商標権・その他の知的財産権で保護されています。個人的に使用する範囲で本書をプリントアウトまたはダウンロードできます。ただし、これ以外の利用（資料の改変、御自分のページへの再利用や他のサーバへのアップロードなど）については、当社または権利者の許諾が必要となります。

- 保証の制限

本資料について、当社は、その正確性、商品性、御利用目的への適合性等に関して保証するものではなく、その御利用により生じた損害について、当社は法律上のいかなる責任も負いかねます。本書は、予告なく変更・廃止されることがあります。

### 商標登記について

- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- パトライ特®は、株式会社パトライ特の登録商標です。
- 記載されている会社名、製品名等の固有名詞は各社の商号、登録商標または商標です。
- その他、本資料に記載されている会社名、システム名、製品名などには必ずしも商標表示を付記しておりません。

FUJITSU Server PRIMERGY Web ページ：

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/>

FUJITSU Software ServerView Suite Web ページ：

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/svs/>

**FUJITSU**

shaping tomorrow with you